

初出式

10年継続会員記念植樹式

有元 康人

初出式の朝は、辺り一面が白くなるような雪の中でした。火おこしや炊き出しの準備をしましたが10時頃には晴れてきて、今年1年の門出にふさわしい日和になりました。参加者は56名と例年より少なめでした。



初出式

千載会長の挨拶の後、餅つきや七草粥の炊き出しが始まりました。セイロや七草粥の釜から湯気が立ち上がり、ならやまの新しい1年を迎える、活気のある風景が広がりました。



蒸したもち米を臼に入れ、慣れた会員が粘りを出すため杵でこね、巳年の年男、年女から順番に餅を搗き、4臼の餅が搗きあがりました。昼に近づくと七草粥も出来上がり、餅を手際よ

く食べやすい大きさにちぎり、黄粉餅やおろし大根餅、手土産用の赤米餅が出来上がり、全員で美味しくいただきました。



10年継続会員記念植樹式

今年の10年継続会員対象者は、井上文雄、内河洋文、平山義正、平山美津子、山内京子、山本美智子さんの6名です。

千載会長の挨拶の後、対象者4名の参加者が紅白のリボンの付いたスコップを手に植樹です。ベースキャンプ奥の日当たりの良い場所に、南米原産のフェイジョア(フトモモ科の常緑低木)を植えました。(3~4年後に実をつけるそうです)



その後、4名の方が順番に思い出やこれからの抱負などを語り、記念写真を撮って、初出式の行事は終了しました。